

ポスター発表の導入について（ご案内）

日本マンガ学会

開催経緯

2010年の日本マンガ学会第10回大会において、若手研究者ネットワーク部会YARNと理事会は、ポスター発表を試験的に導入しました。その結果、非常に好評でしたので、次の第11回大会より口頭発表に加えてポスター発表を個別発表として正式に導入することにいたしました。これまで日本マンガ学会の大会では口頭発表による研究発表が行われてきましたが、ポスター発表の導入によって大会における発表形態の多様化、研究発表の活性化が期待できます。会員の皆様には、従来の口頭発表に加えて、ポスター発表にも奮ってご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

※個別発表の際は口頭発表かポスター発表か希望する発表形態を選んでいただくことになります。

ポスター発表とは

ポスター発表とは会場に用意されたパネルに資料（A0サイズのポスター、PowerPointで作成したスライドをA4用紙に印刷したもの15枚程度、など）を貼付することで報告を行う発表形式のことです。口頭発表と異なり、ポスター発表では、関心をもってくれた見学者に対して時間をかけて説明や議論を行うことが可能です。※当然ながらポスター発表も口頭発表と同様に学会発表としての水準に達していることが求められます。

発表概要（学会当日の流れ）

大会1日目の午後1時から個別発表（ポスター発表と口頭発表）の時間となる予定です。ポスターは、朝の受付開始後から掲示が可能です。2日目の昼の時間帯にも、1時間程度ポスター発表の在籍発表時間を設ける予定です。その間、発表者は自分のポスターの前で待機し、見学者対応（説明、質疑応答）を行うようにして下さい。それ以外の時間でも、大会開催時間中なら、いつでも見学者に対して説明をすることが可能です。大会終了後、ポスターは各自で回収し、持ち帰って下さい。

ポスター貼付要領

会場にポスターを貼り付けるための展示什器を用意いたします。展示什器の資料貼付可能範囲は、大会会場により異なりますが、2010年度の什器（右写真）の場合はおおよそ高さ160cm、幅120cmです（今年度の仕様はエントリー完了後に事務局より連絡します）。ポスター発表に際しては、指定サイズの範囲内で自由に資料を貼付していただいて結構です。簡潔で見やすい掲示を心がけて下さい。掲示位置など詳細は当日ご案内いたします。



使用可能機器等

発表者は、展示什器の指定範囲内を自由に使用可能です。また、什器の近辺に配布資料を置くことも可能です。資料を貼り付けるための道具は事務局で用意する予定ですが、数に限りがありますので、掲示用の備品等はできれば各自でご持参ください。鋏を打てない什器、テープを貼れない什器など、掲示方法に制限のある場合は別途連絡します。

配布物等

各自の発表スペース内において、レジュメや資料、名刺等を配布することも可能です。この場合、配布資料は各自でご用意下さい。